

岡山実験動物研究会の20年間のあゆみ

佐藤勝紀
岡山大学農学部

岡山実験動物研究会は平成14年12月に創立20周年を迎えます。本研究会は猪貴義先生(岡山大学名誉教授)、永井廣先生(岡山大学名誉教授)、倉林謙先生(岡山大学・医学部・附属動物実験施設)が呼びかけ人となり、昭和57年12月7日に岡山郵便貯金会館で、発足しました。本研究会は大学や学部、研究機関の枠を越えて、実験動物と動物実験に関心ある方々の集まりの場として、また知識と情報の交換の場として、それぞれの研究の発展と地域における科学の進展に寄与することを目的として設立されました。初代会長の猪貴義先生(岡山大学名誉教授、本研究会名誉会員)、2代目会長の田坂賢二先生(岡山大学名誉教授、本研究会名誉会員)、3代目会長の栗本雅司先生(榊林原生物化学研究所・藤崎研究所長)、4代目会長の佐藤(岡山大学・農学部)、5代目会長の倉林謙先生(岡山大学・医学部)のリードの下で、理事・常務理事・監事の先生方が中心となって企画され、研究会の開催、運営がなされてきています。長い期間にわたる研究会の開催、運営は本研究会の賛助会員の絶大なる援助に依拠しております。本研究会は平成2年以降、夏と冬に定期的に年2回開催していますが、平成5年から13年までの9年間岡山県新技術振興財団(現岡山県産業振興財団)の共催・後援をいただきました。この20年間に44回の研究会(第44回研究会は11月29日予定)と2回の特別講演会の開催と、19号の研究会報の発行を行ってきました。

以下に、これまで開催された研究会の年月日、場所とその内容の概略について記載します。

第1回岡山実験動物研究会:昭和57年12月7日、岡山郵便貯金会館で開催。創立総会。特別講演「実験動物における発生のひずみの技法別研究法」－永井廣教授(岡山大・歯学部)、「岡山実験動物研究会の今後のあり方」についての討論、懇親会。

第2回岡山実験動物研究会:昭和58年4月30日、岡山大学農学部で開催。研究会会則についての審議、承認。特別講演「哺乳動物による変異原性試験」－土川清先生(国立遺伝学研究所、静岡実験動物研究会会長)、「実験動物研究における最近の話題」－猪貴義教授(岡山大・農学部)。

第3回岡山実験動物研究会:昭和58年9月30日、重井医学研究所で開催。映画上映「染色体上に書かれたネズミの歴史」－吉田俊秀先生(国立遺伝学

研究所・細胞遺伝学研究所・細胞遺伝部長)編集。特別講演「哺乳類発生学の基礎と応用」－館鄰先生(東京大・理学部)。

第4回岡山実験動物研究会:昭和58年12月3日、榊林原生物化学研究所・藤崎研究所で開催。特別講演「林原生物化学研究所の概要」－栗本雅司先生(榊林原生物化学研究所・藤崎研究所所長)、「実験動物の開発－特にその遺伝学的手法について」－永井次郎先生(カナダ農商務省研究所、部長)、榊林原生物化学研究所見学。

第5回岡山実験動物研究会:昭和59年5月19日、岡山大学歯学部で開催。特別講演「先天異常に関する動物データの解釈－とくにヒトへの外挿」－西村秀雄先生(京都大学名誉教授)、「Genetic engineering in Destiny」－Harold M. Slavkin教授(南カリフォルニア大学)。

第6回岡山実験動物研究会:昭和59年12月8日、岡山大学医学部で開催。特別講演「動物実験と私」－小川勝士教授(岡山大・医学部・病理学教室)、シンポジウム「実験動物の飼育・手技・管理・購入における問題点」(6題)：「新薬開発における動物実験の問題点」－亀井千晃先生(岡山大・薬学部)、「中央動物施設運営における人間の意識調査の問題について」－北徳先生(川崎医科大・実験動物飼育センター)、「岡大医学部附属動物実験施設における管理運営上の問題点とその対策について」－倉林謙先生(岡山大・医学部・動物実験施設)、「ハムスター新生児の胸腺摘出と問題点」－元田龍一先生(榊林原生物化学研究所)、「重井医学研究所動物実験室の現状と問題点」－内藤一郎先生(重井医学研究所)、「岡山大学農学部における実験動物の飼育管理の問題点」－佐藤勝紀(岡山大・農学部)。

第7回岡山実験動物研究会:昭和60年4月27日、岡山大学薬学部で開催。一般講演(7題)実験動物の薬効評価への応用－赤木正明先生(岡山大・薬学部)、「マウスにおける体重選抜とその効果」－河本泰生先生(岡山大・農学部)、「実験用ウサギに寄生するウサギツメダニについて」－小郷哲・北徳・山下貢司各先生(川崎医科大・実験動物飼育センター)、「我々の飼育したハムスターにおける自然発生腫瘍について」－矢部芳郎先生(岡山大・医学部)、「経験に基づく実験動物の行動変容」－三谷恵一先生(岡山大・文学部)、「小動物の水洗ラックでの飼育、特に出産について」－河口充宏先生(榊林原生物化学研究所)、「実験動物飼育施設より分

離される緑膿菌の血清型について」-北徳・山下貢司各先生(川崎医科大・実験動物センター)・山口司先生(川崎医科大・附属病院中央検査部)。

第8回岡山実験動物研究会:昭和60年9月28日、川崎医科大学で開催。一般講演(4題)「実験用ウサギの無菌人工哺育について」-小郷哲・北徳・山下貢司各先生(川崎医科大・実験動物飼育センター)、「ラットの実験系球体腎炎の起きやすい系統、起きづらい系統」-佐渡義一・内藤一郎・沖垣達各先生(重井医学研究所)、「川崎医大メディカルミュージアムにおける肉眼標本の作製:実験動物の利用について」-広川満良・三宅康之・原田由美・上野幸子各先生(川崎医科大)、「中央実験動物施設の備えるべき機能とそれを機能させるに必要な条件について」-北徳先生(川崎医科大・実験動物飼育センター)。交差点:テーマ1「動物実験施設中央化の得失」、テーマ2「動物実験における研究者と技術者の役割分担」。

臨時特別講演会:昭和60年11月5日、岡山大学農学部で開催。「ポーランドにおいて医学生物学研究用に対して新しく開発された近交系マウスならびに Congenic strain マウスについて」-Alina Czarnomska 博士(ポーランド・ワルシャワ癌研究所)。

第9回岡山実験動物研究会:昭和60年12月14日、ノートルダム清心女子大学で開催。一般講演(5題)「実験動物とミネラル、Rat を中心として」-高橋正信教授(ノートルダム清心女子大・家政学部)、「草食小動物における大腸の飼料消化能」-坂口英先生(岡山大・農学部)、「Golden Hamster の生育に及ぼす給餌・給水条件の影響」-河口充宏先生(榊林原生物化学研究所)、「ゴールデン・ハムスターの成長における性二型について」-山田明央氏(岡山大・農学部)、「抗生物質とアルコール」-亀井千晃・田坂賢二各先生(岡山大・薬学部)。

第10回岡山実験動物研究会:昭和61年5月10日、岡山大学農学部で開催。一般講演(4題)「自動水洗ラックによる実験用小動物の大量飼育」-河口充宏・高木栄太郎・馬場洋子・二溝久江・佐藤芳範・栗本雅司各先生(榊林原生物化学研究所)、「顆粒球系骨髄細胞の増殖について」-中矢直樹・田坂賢二先生(岡山大・薬学部)、「霊長類胃粘膜の比較形態」-鈴木一憲・永井廣各先生(岡山大・歯学部)、「実験動物としての日本ウズラの開発」-佐藤勝紀(岡山大・農学部)、シンポジウム「動物の集団をどのようにとらえるか」(3題):「昆虫の集団」-吉田敏治先生(岡山大・農学部)、「動物集団の行動についての一解析」-渡辺孝宗先生(岡山大・教養部)、「実験動物における社会構造と密度効果」-河本泰生・猪貴義各先生(岡山大・農学部)。

第11回岡山実験動物研究会:昭和61年9月13日、

重井医学研究所で開催。話題提供(2題)「MCH 動物の開発」-田口福志氏(日本クレア)・斎藤宗雄・吉村幸夫各先生(実中研)、「バイオハザード対策の設備及び施設計画」-堀田勝氏(日本クレア)、特別講演(2題)「実験動物とのつき合い」-妹尾左知丸先生(重井医学研究所所長)、「原爆放射線がもたらした災害-レントゲンからチェルノブイリまで」-阿波章夫先生(広島放射線影響研究所・遺伝学部長)。

第12回岡山実験動物研究会:昭和61年12月6日、榊林原生物化学研究所で開催。特別講演「実験動物における Genetic Monitoring の意義と役割」-山田淳三教授(京都大・医学部)、一般講演(3題)「スunksの歯の発生」-近藤信太郎先生(岡山大・歯学部)、「Dietary Fiber について」-中永征太郎先生(ノートルダム清心女子大・家政学部)、「自動水洗ラックを用いた小動物の大量飼育」-佐藤芳範先生(榊林原生物化学研究所)、研究会会則(第6条)改正について審議、承認、懇親会。

第13回岡山実験動物研究会:昭和62年3月30日、岡山大学医学部で開催。発生工学懇談会、岡山バイオ懇親会との共催。フォーラム「生物のかたち作りの謎をとく-発生工学への道」記念講演 Nicole M. LeDouarin 博士(フランス科学振興発生学研究所所長)、賛助講演「細胞をよりわかる分子と動物のかたち作り」-竹市雅俊教授(京都大・理学部)。

第14回岡山実験動物研究会:昭和62年9月5日、岡山大学薬学部で開催。一般講演(7題)「実験動物としての海産無脊椎動物」-三枝誠行先生(岡山大・教養部)、「AKR マウスのけいれんと脳内モノアミン」-片山泰人・加太英明・森昭胤各先生(岡山大・医学部・脳代謝研究施設)、「小動物の大量飼育における自動給餌器の開発」-石川哲之・河口充宏・佐藤芳範・栗本雅司各先生(榊林原生物化学研究所)・倉林護先生(岡山大・医学部)、「マウスにおける自発行動と親行動について」-野崎大典・猪貴義先生(岡山大・農学部)、「イヌの migrating myoelectric complex に対する cholecystokinic の作用」-亀井千晃・田坂賢二各先生(岡山大・薬学部)、「霊長類の胃粘膜における粘液物質の分布と機能」-鈴木一憲・永井廣各先生(岡山大・歯学部)、「Wistar 系ラットの行動の時系列的分析-FIT(fixed-time)のスケジュールを用いて」-杉本完二氏(岡山大・文学部)、懇親会。

第15回岡山実験動物研究会:昭和62年12月5日、岡山郵便貯金会館で開催。特別講演(3題)「動物の行動における記憶の機制」-平野俊二先生(京都大・文学部)、「哺乳類中枢神経系の発生と分化」-御子柴克彦先生(大阪大・蛋白質研究所)、「実験動物における発生工学の進歩」-豊田裕先生(東京大・医学研究所)、懇親会。

第16回岡山実験動物研究会:昭和63年5月28日、岡山大学文学部で開催。特別講演「動物実験に影響する諸要因とその統御」—後藤信男教授(神戸大・農学部)、一般講演(3題)「ウズラ卵殻腺のカルシウム輸送細胞に関する微細構造学的研究」—山本敏男・永井廣各先生(岡山大・歯学部)、「アロキサン誘発糖尿病高発症系・低発症系マウスの選抜育種と両近交系間の耐糖能の比較」—尾方英徳氏・猪貴義先生(岡山大・農学部)、「Interactions of some trace element nutrients and xenobiotics metabolism」—Dr. G. Stanley Smith (Department of Animal and Range Sciences, New Mexico State University, Professor)

第17回岡山実験動物研究会:昭和63年12月10日、岡山大学歯学部で開催。歯学部口腔解剖第一講座と共催。特別講演(2題)「咀嚼システムにおける感覚入力の影響」—窪田全次郎先生(東京医科歯科大学名誉教授)、「Basic research in teratology」—Dr. G. H. Schumacher (Rostock University, Professor)

第18回岡山実験動物研究会:平成元年12月2日、まきび会館で開催。特別講演(3題)「実験動物としてみた節足動物」—山口恒夫教授(岡山大・理学部)、「実験動物としてのショウジョウバエ」—浅田伸彦先生(岡山理科大・理学部)、「バイオテクノロジーの応用による新しい実験動物の開発」—東條英昭先生(富山医科薬科大)、懇親会。

第19回岡山実験動物研究会:平成2年6月30日、岡山大学農学部で開催。一般講演(6題)「近交系シリアンハムスターにおける多型性の有無の検討—mtDNA 制限酵素切断型を用いて」—山下摂氏・猪貴義・米田嘉重郎*各先生(岡山大・農学部、*東京医大・動物実験センター)、「線虫 C.エレガンス麻酔剤応答異常に関わる遺伝子群」—安藤秀樹氏(岡山大・理学部)、「C58 マウスのけいれんについて」—片山泰人先生(岡山大・医学部)、「ハムスター出産日のコントロールによる出産仔利用率の向上」—花谷利春・杉本純夫・田中恵美・斎藤聡・滝本晃・杉本利行・栗本雅司各先生(嵯峨原生物化学研究所)、「白ネズミにおける食餌の Bulk と摂取量」—中永征太郎先生(ノートルダム清心女子大・家政学部)、「F344/DuCr」ラットにおける円または三角形刺激の後期分化的知覚学習の効果(2)—円刺激または三角形刺激の単側提示検査の結果」—三谷恵一教授(岡山大・文学部)、懇親会。

第20回岡山実験動物研究会:平成2年12月1日、まきび会館で開催。特別講演(3題)「動物実験における腎症候性出血熱の発生と終息」—山之内孝尚先生(元大阪大・微生物病研究所教授)、「神経細胞の雑種形成」—石井一宏先生(京都大・ウイルス研究所)、「アセチルコリンおよびヒスタミン吸入に対

する気道感受性を異にするモルモット 2 系統の選抜育種」—三上博輝先生(日本臓器製薬(株)、生物活性科学研究所)、研究会会則の改正について審議、承認、懇親会。

第21回岡山実験動物研究会:平成3年7月12日、嵯峨原生物化学研究所吉備製薬工場で開催。特別講演(2題)「癌と動物」—栗本雅司先生(嵯峨原生物化学研究所・藤崎研究所)、「岡山の自然と生物」—三枝誠行先生(岡山大・教養部)、工場見学、一般講演(2題)「ラット肝臓メチオニン代謝に及ぼすビタミン B₁₂ 欠乏の影響」—河田哲典先生(岡山大・教育学部)、「嘔吐運動のパターンを形成する中枢神経機構」—古我知成・福田博之各先生(川崎医科大)、懇親会。

第22回岡山実験動物研究会:平成3年11月30日、まきび会館で開催。特別講演(3題)「動物の子育てについて」—福本幸夫先生(広島市安佐動物公園)、「今注目をあびている実験動物 “スunks”について」—松木則夫先生(東京大・薬学部)、「ヒト疾患モデル動物の開発」—猪貴義教授(岡山大・農学部)、岡山実験動物研究会名誉会員(猪貴義先生)の授与・表彰式、懇親会。

第23回岡山実験動物研究会:平成4年6月20日、岡山県総合畜産センターで開催。特別講演(2題)「哺乳動物初期胚の凍結保存と体外受精」—野上興志郎先生(岡山県総合畜産センター・専門研究員)、「葉効開発と疾患モデル動物」—新井成之先生(嵯峨原生物化学研究所・藤崎研究所)、場内見学。

第24回岡山実験動物研究会:平成4年12月4日、まきび会館で開催。特別講演(3題)「医学・生物学における先端技術としての放射線利用」—大原弘教授(岡山大・教養部)「がん免疫」—中山睿一教授(岡山大・医学部)、「環境の発がん物質に対するヒト曝露の研究手法」—早津彦哉教授(岡山大・薬学部)、懇親会。

第25回岡山実験動物研究会:平成5年6月18日、重井医学研究所で開催。岡山県新技術振興財団との共催。一般講演(3題)「初期経験と後期経験との組み合わせによる心理的機能と生理的機能の変化」—三谷恵一教授・Ben Hassine Dhaigham 氏・Dueri Fabiola 女史(岡山大・文学部)、「吉備製薬工場のハムスター生態の観察(その1)昼間と夜間の交尾行動」—川崎翁史・池上哲也・中嶋尚丈・三藤雅之・古田拓司・山根由弘・安藤駿作各先生(嵯峨原生物化学研究所・吉備製薬工場)、「スunks脳の糖脂質分析」—渡辺清博先生(重井医学研究所)、特別講演「動物におけるシートからの形づくり」—本多久夫先生(新技術事業団・吉里再生機構プロジェクト)。

第26回岡山実験動物研究会:平成5年12月17日、まきび会館で開催。岡山県新技術振興財団との共

催。招待講演「モンゴル・ゴビ砂漠における恐竜調査」石井健一教授（近畿大学、(株)林原自然科学博物館準備室長）、記念講演(2題)「実験動物と私達」-矢部芳郎教授(岡山大・医学部)、「動物としての細胞」-田坂賢治(岡山大・薬学部)、岡山実験研究会名誉会員(矢部芳郎先生、田坂賢二先生)の授与・表彰式、懇親会。

第27回岡山実験動物研究会：平成6年6月25日、岡山大学教育学部で開催。一般講演(3題)「イヌの中樞刺激による胆汁排出と自律神経性胆汁排出調節」-古川直裕・岡田博匡*各先生、(川崎医科大・*川崎医療福祉大)、「ヒトIFN- α プロモーターを使用した糖蛋白質産生システム-伊藤(旧姓:佐藤)美千代・森哲也・山本康三・太田恒孝・阪本知代・小出一広・村上欽俊・藤井光清・福田恵温・栗本雅司各先生(株)林原生物化学研究所・藤崎研究所、「ムコ多糖症モデルラットにおける疾患原因遺伝子の解析」-国枝哲夫先生(岡山大・農学部)、特別講演「内分泌細胞における細胞増殖の調節」-高橋純夫先生(岡山大・理学部)。

第28回岡山実験動物研究会：平成6年12月2日、メルパルク OKAYAMA(岡山郵便貯金会館)で開催。岡山県新技術振興財団との共催。特別講演(2題)「実験動物とワクチンの品質管理」-小野耕一先生((財)阪大微生物研究会)、「遺伝子ノックアウトマウス作製と免疫応答解析への応用」-高井俊行先生(岡山大・工学部)、招待講演「ケージサイズについて考える」-佐藤徳光先生(新潟大・医学部・附属動物実験施設、懇親会)。

第29回岡山実験動物研究会：平成7年7月1日、ノートルダム清心女子大学で開催。岡山県新技術振興財団との共催。一般講演(3題)「ラットマウスの辜丸に及ぼすビタミン B12 欠乏の影響」-河田哲典先生(岡山大・教育学部)、「モルモットを用いたアレルギー性結膜炎モデルの作成とその応用」-高田美穂女史・山地雅子・出石啓治・杉本幸雄・亀井千晃各先生(岡山大・薬学部)、「嘔吐運動のパターンを形成する中枢神経機構その2」-古我知成・福田博之各先生(川崎医科大)、特別講演「抗がん剤誘発脱毛モデル動物の作成と脱毛抑制剤」-高畑京也先生(岡山大・農学部)、懇親会。

第30回岡山実験動物研究会：平成7年12月1日、メルパルク OKAYAMA で開催。岡山県新技術振興財団との共催。特別講演(4題)「家庭を取り巻く害虫」-三宅忠氏(岡山ベストコントロール協会事務局長)、「ゴキブリよもやま話」-西村昭先生(アース製薬(株)・研究顧問)、「動物催眠-防衛行動としての死んだふり」-酒井正樹先生(岡山大・理学部)、「細胞ガン化の機構」-清水憲二教授(岡山大・医学部)、懇親会。

第31回岡山実験動物研究会：平成8年6月29日、

川崎医科大学で開催。岡山県新技術振興財団との共催。一般講演(4題)「昆虫腹筋の神経支配とその興奮性接合部位電位の生理学的性質」-川崎史子・喜多弘各先生(川崎医大)、「ヒト白血病細胞株のハムスター着生試験とその有効利用について」-古谷聡美・伊藤美千代・新井成之・栗本雅司各先生(株)林原生物化学研究所・藤崎研究所)、「アレルギー性疾患モデルとしてのBN系ラットの有用性」-大石浩子女史・杉本幸雄・亀井千晃各先生(岡山大・薬学部)、「4型コラーゲンの自己免疫疾患である坑 CBN 抗体腎炎の動物モデルによる解析、佐渡義一先生(重井医学研究所)、特別講演「広島大学医学部附属動物実験施設の紹介と実験動物の眼検査について」-古川敏紀先生(広島大・医学部・附属動物実験施設)。

第32回岡山実験動物研究会：平成8年11月29日、ルネサンス岡山(ギャラリー・ルネサンス)で開催。岡山県新技術振興財団との共催。特別講演(3題)「大型ウサギの実験動物化に関する研究」-松田幸久先生(秋田大・医学部・附属動物実験施設)、「コラーゲン遺伝子改変と動物疾患モデル」-二宮義文教授(岡山大・医学部)、「マスト細胞分化異常動物」-北村幸彦教授(大阪大・医学部)、懇親会。

特別講演会：平成9年3月6日、岡山大学農学部で開催。特別講演「Recent cytogenetic investigations in livestock in Europe - an overall view」-Dr. Gerald Stranziger (Swiss Federal Institute of Technology, Professor)

第33回岡山実験動物研究会：平成9年7月12日、岡山大学農学部で開催。岡山県新技術振興財団との共催。一般講演(4題)「マウス Anti-mullerian hormone receptor 遺伝子の染色体マッピング」、小鹿泉女史・国枝哲夫先生(岡山大・農学部)、「小型熱帯魚グッピーの放射熱生物学」-大原弘教授(岡山大・理学部)、「コカイン反復投与によるマウスの痙攣感受性亢進におけるポリアミンの役割」-霜里和朗・渡辺悟・桂昌司・大熊誠太郎・斎藤泰一*各先生(川崎医科大・薬理学、*川崎医療福祉大・医療福祉学部・保健看護学科)、「ウサギのケージ内における行動学的観察-特に在来型 FRP ケージと SCANBER ケージとの比較について」-倉林謙先生・上山和貴・大光宗義各氏(岡山大・医学部・附属動物実験施設)、特別講演「ヒト Wilson 病モデル、肝癌モデル、免疫不全モデルとしての LEC ラット」-松本耕三先生(徳島大・医学部・附属動物実験施設)、懇親会。

第34回岡山実験動物研究会(創立15周年記念大会)：平成9年11月28日、メルパルク OKAYAMA で開催。岡山県新技術振興財団との共催。記念講演「ライフサイエンスの展開と実験動物」-猪貴

義先生（岡山大名誉教授、日本実験動物協会副会長）、特別講演（2題）「疾患モデル動物の開発とその応用」－菊池建機先生（国立精神・神経センター・モデル動物開発部・部長）、「癌の遺伝子治療」－田中紀章教授（岡山大・医学部・第一外科）、懇親会。

第35回岡山実験動物研究会：平成10年7月18日、岡山大学薬学部で開催。岡山県新技術振興財団との共催。一般講演（4題）「白ネズミにおける食餌のエネルギー・食物繊維化と糞便の形状について」－中永征太郎教授（ノートルダム清心女子大・家政学部）、育種選抜によるハムスター法改善の可能性について」－野村穰・久保田研二・小出一広・伊藤美千代・池田雅夫・栗本雅司・各先生（㈱林原生物化学研究所・藤崎研究所）、「ラット脳波におよぼす抗ヒスタミン薬の影響」－齊藤康一氏・亀井千晃先生（岡山大・薬学部）、「マウスXVⅢ型コラーゲンの組織内局在」－内藤一郎・香川恵・二宮善文*・佐渡義一各先生（重井医学研究所、*岡山大・医学部）、特別講演「薬物依存形成における diazepam binding inhibitor (DBI)の役割」－大熊誠太郎教授・桂昌司先生（川崎医科大・薬理学教室）、岡山大農・薬動物実験施設見学、懇親会。

第36回岡山実験動物研究会：平成10年11月27日、岡山国際交流センターで開催。岡山県新技術振興財団の後援、特別講演（2題）「両生類の経皮的水分摂取機構と陸上適応」－上島孝久先生（岡山大・理学部）、「骨粗鬆症疾患モデルとその評価について」－西崎泰司先生（㈱林原生物化学研究所・藤崎研究所）、記念講演（1題）「内分泌攪乱物質（環境ホルモン）の何が問題か」－井口泰泉先生（横浜市立大学・理学部、現岡崎国立共同研究機構）、懇親会。

第37回岡山実験動物研究会：平成11年5月26日、岡山大学医学部図書館（鹿田分館）3階講堂で開催。岡山県新技術振興財団の後援。一般講演（2題）「Tg動物飼育用ラック“ルフテンTg”の開発」－橋詰俊雄氏ら（白銀工業㈱、大気社、岡山大・医・動物実験施設）「免疫グロブリン遺伝子 Knock-inマウスを用いる抗体の親和性成熟機構の解析：RAG遺伝子産物は関与するか」－曲正樹氏ら（岡山大・工学部）、特別講演（2題）「上海実験動物科学の進展」－王楠田先生（上海実験動物科学專業委員会会長）、「生体部分肝移植について」－清水信義先生（岡山大・医学部・第二外科）、懇親会。

第38回岡山実験動物研究会：平成11年11月24日、メルパルク OKAYAMA（岡山郵便貯金会館）で開催。岡山県新技術振興財団の後援。特別講演（2題）「Tg動物飼育システム STAR 及び STAR/OK の紹介」－柳原茂氏ら（東洋熱工業㈱）、「モンゴル恐竜共同調査 6年間の歩み」－鈴木茂先生（林原

自然科学博物館、招待講演（1題）「最近の家畜ゲノム解析－ブタ MHC クラスⅡ遺伝子と牛 M_x タンパク質遺伝子」－小松正憲先生（農林水産省中国農業試験場畜産部・育種繁殖研究室）懇親会。

第39回岡山実験動物研究会：平成12年7月8日、岡山大学文学部会議室で開催。岡山県新技術振興財団の後援。一般講演（3題）「パターンは右視野で視覚走査され、水平線分は垂直線分よりも誘目性が高い－30・40msec 行動解析－」－三谷恵一先生（岡山大・文学部）、「四元雑種由来マウスコロニーに出現した骨格異常突然変異の解析」－新海雄介氏（岡山大・農学部）、「マウス居住性から見た現在市販床敷ベスト10」－倉林謙先生（岡山大・医学部）特別講演（1題）「医薬品開発サポート業の現状」金田平八郎氏（㈱ラビトン研究所・大阪医薬品臨床開発研究所）、夕食会。

第40回岡山実験動物研究会：平成12年12月8日、メルパルク OKAYAMA（岡山郵便貯金会館）で開催。岡山県振興財団（旧、岡山県新技術振興財団）の後援。特別講演（2題）「機能性食品業界の最近の動向」－井上良計先生（備前化成㈱研究開発部）、「無視できない線虫の話」－香川弘昭先生（岡山大大学院・自然科学・分子生命科学、理学部）記念講演（1題）「実験動物研究の50年を顧みて」－猪貴義先生（本研究会名誉会員、岡山大学名誉教授）、懇親会。

第41回岡山実験動物研究会：平成13年6月22日、㈱林原生物化学研究所・藤崎研究所で開催。岡山県産業振興財団の後援。一般講演（4題）「V(D)J 組換え依存性の蛍光標識法による RAG 遺伝子発現細胞の検出と解析」－西川恵美子女史ら（岡山大・工学部）、「プリオン蛋白ペプチド（PrP106-126）によってラット下垂体由来細胞株 GH3 に誘導される細胞死の形態学および生化学的検討」－山下摂氏ら（岡山大・農学部、農林水産省・家畜衛生試験場：現特別行政法人・動物衛生研究所）「トレハラゼノックアウトの作出と表現型解析」－平田京子女史（㈱林原生物化学研究所・藤崎研究所）、「これからの動物実験施設を考える」－夏目克彦氏（㈱夏目製作所）、特別講演（1題）「多因子疾患原因遺伝子 Positional Cloning への取り組み－肥満・高脂血症・高血糖を支配する遺伝子の解明－」－渡邊武先生（大塚製薬㈱大塚 GEN 研究所）、懇親会。

第42回岡山実験動物研究会：平成13年11月30日、まきび会館で開催。岡山県産業振興財団の後援。賛助会員による講演（1題）「弊社業務内容案内」－菅野史郎氏（ハムリー㈱）、特別講演（2題）「細胞死（アポトーシス）のシグナル伝達機構と生体における役割」－酒巻和弘先生（京都大学ウイルス研究所）、「がんと免疫」－中山睿一先生（岡

山大学院医学総合研究所)、懇親会。

第43回岡山実験動物研究会:平成14年6月7日、重井医学研究所で開催。一般講演(3題)「WS4マウスにおけるエンドセリン β レセプター遺伝子の解析」-大谷真氏ら(岡山大大学院自然科学研究科、埼玉県立がんセンター研究所)、「マウスの皮膚反応におけるヒスタミンH3受容体の関与」-ホッセン・マリア女史ら(岡山大・薬学部)、「フタホシオオロギのフェノール酸化酵素の性状」-浅田伸彦先生ら(岡山理科大、徳島大・工学部)、賛助会員による講演(1題)「株式会社ナルクのビ

ーグル生産事業・実験動物受託飼育事業の概要」-橋本匡司ら(株ナルク、日本農産工(株))、特別講演(1題)「今日の生殖医療の現状と問題点」-沖津根先生・三宅馨先生(三宅医院IVFセンター)

第44回岡山実験動物研究会(創立20周年記念大会)

:平成14年11月29日、メルパルクOKAYAMA(岡山郵便貯金会館)で開催、日本生物工学会西日本支部協賛予定。

記念講演・特別講演3題を企画。

岡山実験動物研究会報のこれまでの掲載内容

第1号:1983年4月発行

祝辞 岡山大学長 大藤 真
重井医学研究所長 妹尾佐知丸
あいさつ 会長 猪 貴義
第1回岡山実験動物研究会経過報告
常務理事 永井 廣
第2回岡山実験動物研究会開催予告
岡山実験動物研究会会則(案)

おしらせ

第2号:1984年4月発行

あいさつ 猪 貴義
特別講演要旨 齧歯類の発生のひずみをしらべる
永井 廣
寄稿
ハムスターの子育て 矢部芳郎
実験動物の遺伝制御 河本泰生
実験動物としての日本ウズラ 佐藤勝紀
哺乳類の胃の比較形態 鈴木一憲・永井 廣
ニホンザルにみられた“下痢症”について
稲垣晴久

施設めぐり

岡山大学医学部附属動物実験施設 倉林 謙
林原生物化学研究所藤崎研究所 益田和夫
研究会だより

第11回静岡実験動物研究会研究発表に出席して

永井 廣

第6回静岡実験動物研究会討論会に出席して

倉林 謙

第2,3,4回岡山実験動物研究会講演会報告

第3号:1985年4月発行

あいさつ 猪 貴義
特別講演要旨
ライフサイエンスの研究推進と実験動物
猪 貴義

実験動物の開発一特に遺伝子的手法について

永井次郎

寄稿

吉田豊三郎先生の実験ことはじめと人生

佐藤 博

薬理実験とその施設について

田坂賢二

経験に基づく実験動物とその施設について

三谷恵一

各種哺乳動物の乳成分組成の比較

片岡 哲

実験動物の全身麻酔の現況と将来

倉林 謙

第3回国際細胞生物学会議を主催して

沖垣 達

施設めぐり

川崎医科大学実験動物飼育センター

北 徳

ラビトン研究所付属ラビトン牧場

金田平八郎

研究会だより

第12回ヨーロッパ先天異常学会に

実験動物シンポジウムに出席して

倉林 謙

第5,6回岡山実験動物研究会報告

第4号:1986年4月発行

あいさつ

猪 貴義

特別講演要旨

実験動物と私

小川勝士

寄稿

飼育器具機材の発展史

佐藤善一

動物集団をどのようにとらえるか

吉田敏治

新薬開発における動物実験の問題点

亀井千見・田坂賢二

日本ウズラにみられた近交退化現象 佐藤勝紀

岡山大学医学部附属動物実験施設におけるイス・

ネコ、サル の検査成績について 横田泰江・

倉林 謙・野田昭一・大江茂一・大賀育造

施設めぐり

重井医学研究所

内藤一郎・沖垣 達

阪大微生物研究会観音寺研究所雲岡支所